



冬場観光の活性化

伝統芸能で村おこしをテーマにした誘客企画



最初は観光客向けだったのね。

県内でも有数のリゾート地・恩納村において観光は村を支える重要な産業です。そのため、マリニレジャーのオンシーズンである夏場に比べて賑わいの落ち込む冬場、その時期を魅力的に彩る観光資源の開発を課題としていました。その課題を抱えながら迎えた平成二十一年の夏、新型インフルエンザの流行で夏場の観光客数が大幅に減少、同村では、これから迎える冬場の観光を盛り上げる誘客企画が急務となりました。

伝統芸能の拠点へ

若い力の頑張りが伝統芸能の新たな拠点を創る



伝統芸能が新たな地域資源になる。

い、その報告が同メンバーから名城さんに届けられました。

第一回の「おんなWEEK」から二年経過した平成二十四年二月、県の支援も受け、第二回「おんなWEEK」が開催されました。今回は、村民や県民がターゲット。地元が「素晴らしい」と誇れるものが観光の目玉になると考え、沖縄の歴史を盛り込んだメッセージ性の高い歌舞集の創作や県内旅行代理店の協力のもと「おんなWEEKバスツアー」を実施するなど新たな挑戦も行いました。

「OB会の頑張り、村民の伝統芸能や地域芸能への意識を向上させた。それはこれからの恩納村の観光にとってプラスです」と語るのは、恩納村役場 商工観光課の当山秀幸さん。OB会の金城裕幸

の金城裕幸さん。OB会の金城裕幸



艶やかな群舞の迫力と美しさに観客は圧倒された

## 恩納村

沖縄の伝統芸能文化を継承する若者たちが、新しい観光スタイルの創出に動き出しでいます。

そこで立ち上がったのが「春や春おんなWEEKで楽しまナイト」です。行政と、同村のリゾートホテルや青年会、婦人会、老人会、区長会が参加する「恩納村むら興し協議会」が主催。同村で修学旅行生や一般観光客向けの体験学習や



おんなWEEKが開催された恩納村ふれあい体験学習センター

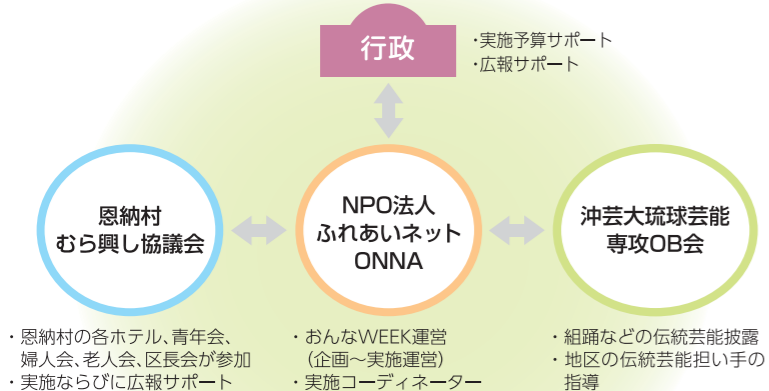
地元向けのカルチャースクールなどを運営するNPO法人ふれあいネットワークがプロデューサーとして、沖縄県若手芸能家トップクラスの実力を誇る「沖芸大琉球芸能専攻OB会」の出演協力のもと、平成二十二年二月六日から三月十三日までの毎週土曜日に開催され、約三千人の観客を集めました。



伝統芸能をキーワードに恩納村とつながりを深めるOB会の金城さん(左)と山城垂矢乃さん

さんは、この公演が継続的な催しとなって、県外・海外から沖縄に人を呼び込むことにつながればと目を輝かせます。

### 恩納村伝統芸能で村おこし「おんなWEEK」



恩納村の各ホテル、青年会、婦人会、老人会、区長会が参加、実施ならびに広報サポート

おんなWEEK運営(企画～実施運営)、実施コーディネーター

組踊などの伝統芸能披露、地区の伝統芸能担手の指導

### 住民



恩納村は文化の村でもある、ということについて語る当山さん(左)と野原みちよさん

海の恵みに、新たに人の恵み、伝統芸能の魅力が加わった恩納村から目が離せないね。

沖縄の伝統芸能の若き担い手たちと協力しながら新たな観光資源の創出に動き出した恩納村。「まず県内に伝統芸能ファンを増やす。国立劇場で演じられるような質の高い舞台が、村内で定期的鑑賞できるようにして、地域の活性化、村おこしを図りたい」と語る、名城さんの言葉には、地元の、そして沖縄の未来を想う愛情にあふれています。

若い力の交流

プロの舞台を間近で見る。それが地元の伝統芸能も輝かせた



地元の伝統芸能を担う若者との交流もあったのね!

「春や春おんなWEEKで楽しまナイト」は、「琉球芸能 彩・風・香」をテーマに、OB会による華麗なる組踊や琉球舞踊、雑踊り、創作舞踊を中心に、同村青年団のエイサーや獅子舞、同村出身の佐久本嗣男氏の空手道場も参加した舞台が披露されました。観客席の中央と左右に張り出した特設ステージは、会場の一体感を生みだし、踊り



OB会メンバーでもあり、企画の総合プロデューサーも手掛ける名城さんは、この公演のキーマン



地元の伝統芸能である山田地区の獅子舞も登場し、舞台を盛り上げた

きました。その甲斐あって、同公演から数カ月後、地元旧行事で獅子舞披露をした際に「今年の演舞はすごい！」という声を住民の方々からも

手と一緒に手踊りする観客も多数見られ、盛り上がりました。「本番へ向けた稽古も熱かった。地元の青年団がOB会に刺激を受けて格段に上手になりました」と語るのは、NPO法人ふれあいネットワークの事務局局長名城一幸さん。OB会のプロの稽古を目の前で見ると感動した青年団のメンバーは、総合プロデューサーを担う名城さんの厳しい演出の注文にも真摯(しんし)に取り組み技術を磨

## 編集後記

先日、前から気になっていた現代版組踊「肝高の阿麻和利」の公演を観てきました。客席の通路も使って、大勢の出演者が繰り広げる歌やダンスは、とても中高生が演じているとは思えない大迫力。地域おこしの枠を超えた、素晴らしいエンターテイメントで、また観にいきたい舞台です。(kai)

最近体重が増えつつある私。それでも、「関係無い!!」と自分の体を見て見ぬふりをしてきました。しかし、先日、ニュースを見ていたら、沖縄県の成人男性は全国一肥満率が高いと放送されていました。その理由として、食生活やお酒などが挙げられていました。長寿県沖縄を取り戻すべく、今後お酒は控えたいと思います。(tama)

平成24年3月1日発行 第36巻3号通巻438号

沖縄県広報誌 **美ら島沖繩**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

### アンケート

「美ら島沖繩」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら **美ら島沖繩** 検索

▶ 携帯電話は、右のQRコードから

